

別記様式

		担当課	中央公民館
会議の名称	第1回 鴻巣市公民館運営審議会		
開催日	令和5年7月20日(水)		
開催時間	10時00分 開会 ・ 12時10分 閉会		
開催場所	鴻巣市役所本庁舎 4階 大会議室		
議長(委員長・会長)氏名	委員長 竹内茂雄		
出席者(委員)氏名(出席者数)	浦山拓之、三瓶美穂、竹内茂雄、小川はるみ、中根節子 長島祥一、新井みほこ、竹井史子、齋藤美知枝、今野久夫 今西和夫、酒巻貞夫(12名) *敬称略		
欠席者(委員)氏名(欠席者数)	なし		
事務局職員職氏名	中央公民館長 新井隆司 箕田公民館長 島村信行 田間宮生涯学習センター所長大島和之 あたご公民館長 佐藤康夫 常光公民館長 榎本智 笠原公民館長 春山一雄 吹上生涯学習センター館長 細野兼弘 川里生涯学習センター館長 山縣一公 北新宿生涯学習センター館長 吉田隆一 中央公民館主任 小宮幸治 中央公民館主任 山本太郎		
傍聴の可否(傍聴者数)	希望者なし		
会議の内容	1 開会 2 あいさつ 3 報告①令和4年度公民館利用状況と実績報告について 4 報告②令和5年度公民館事業計画について 5 報告③令和5年度公民館まつりについて 6 その他 7 閉会		
	【質疑応答、決定事項等】 1 令和4年度公民館利用状況と実績報告について説明を行い、次のような意見があった。 <ul style="list-style-type: none"> 川里生涯学習センター主催講座「初めての食品サンプル教室」の定員が足りなかった理由は、⇒子どもを対象とした同講座も好評だったが、大人対象の講座についてはPRが足りなかった。より良い方法を考えていく。 各公民館の地域内の利用者はどのくらいの割合か。⇒特に統計は取っていない。公民館主催講座の申込時に住所を確認しているが集計は取っていない。利用者の地域の集計については今後の課題とする。 資料に講座参加希望者数を入れたほうがよい。総合体育館を使用するかどうか。⇒講座の申込者数、実際の参加数について明記するようにしたい。総合体育館等については指定管理者が健康系講座を行っており、公民館が総合体育館等を使用することは考えていない。 		

- 行政活動でマネジメントサイクルを考慮していない。事業の評価方法や改善方法についての視点が全く欠けているので是正した方が良い。エビデンス・証拠に基づく政策が求められている。講座参加者アンケートの調査結果を公表し、その内容に対して改善を実行する必要がある。情報の見える化、発表することが大事。⇒アンケート結果の公表はしていない。改善の意見は次回の講座に反映するなどを各館で行っている。「こういったことを改善しました」と伝えられればいいか、今後考えていきたい。
- 講座参加者が固定化され、若い人が少ないので、ターゲットを絞るようなかたちで事業計画をしたほうがいい。⇒人気のある先生はリピーターが多い。多くの市民の方に体験してもらうことにならないので、考えていきたい。若い方の参加が少ないことについて、公民館で夜間の講座が今少ないので、若い主婦の方が参加できるような夜7時半、8時からの開始講座を試験的に計画している。
- キャリア形成が大事。働く若い世帯、中高年齢世代がビジネスに役立つようなことを幅広く公民館としてやるべき。メガトレンドについて講座にして分かりやすいように説明したらどうか。⇒キャリア形成は、商工観光課等、環境経済部での説明会がある。公民館はあくまでも地域密着の市民のための社会教育施設で、学校教育の場でも、経済について学ぶところが多くなっていることから、積み立NISAのような講座の取り入れを考えている。
- 講座の内容を、YouTubeで10分とか15分ぐらいの内容でまとめて発信すれば、若い方々も、SNSを使って学べ、それがきっかけとなって公民館に対するロイヤリティが変わるのではないか。⇒現在職場内で話を進めている。
- 受講者・希望者で、何人申込とオープンにするのもいいと思うが、定員超過で開催しているものは、公民館で工夫し柔軟性をもって対応しているので、そういう良い部分は続けた方がいいと思う。

2 令和4年度公民館実績について説明を行い、次のような意見があった。

- 講座を依頼する講師の情報収集の方法は。⇒他の公民館での人気のあった講座やアンケート結果も参考にしている。講師一覧でも情報収集を行っている。
- 中央公民館の聴覚障がい者社会教育講座の内容は、どのようなものか。⇒市の聴覚障がい者協会・聴覚障がい者の方の講座で、協会の代表者を中心に、内容を決めている。
- 市のリブサポネットについて、チラシ紹介、スマホ講座等で取り上げをお願いしたい。⇒リブサポネットの紹介について、スマホ講座に取り入れるかどうかについては、講師と調整する。
- 昼間若いママさんが講座参加するのは現実的には無理。昼間、若い子供を連れて参加できる講座がないかと思う。⇒夜間の時間帯に講座を公民館でも取り入れた。小さいお子さんを如何にして預かるか、どこでみるかという問題も出てくるかと思うが考えていきたい。
- 働いている方は興味があっても出ることができない状況。YouTube等、配信すると興味を持っている人は見に行こうかとなると思う。小中学校の保護者の方も、オンライン・YouTubeで学校授業を配信し、仕事が終わってから保護者が家で見られる。自治会に入らない人も多くて、広報誌が家に来ない、自分から求めに行かないと来ない、という家庭が多い。公民館から情報発信があれば、外に出られないお母さんたちも興味を持つと思う。⇒講座の内容を断片的にまとめてホームペー

	<p>ジに掲載等できないか、市の HP や YouTube の配信等で講座の紹介等ができればと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館と生涯学習センターは、普段の放課後、子供たちの遊び場等生活の一部になっている。放課後利用している子供たちは非常に多く、公民館・生涯学習センターの方達が非常に温かく見守っていると感じている。 ・ できるだけ各地域にある公民館が、地域の住民を対象として交友を広げていけるよう地域住民を対象とした講座をやるよいのではないか。 ・ 令和5年度の事業計画をなぜ今出すのか。⇒委員の交代があったほか後期計画の報告もあり行った。 ・ 講座について、生涯学習ガイドのように、目的別の一覧を作成して、自分が参加したい講座を短時間で探せるような仕組みをつくらどうか。⇒広報等でお知らせはしているが、一覧表という形ではなかったのが課題とする。 ・ 参加率について総合振興計画での公民館の目標数を達成できるのか聞きたい。⇒総合振興計画の目標達成に向けて各館で取り組んでいる。 ・ 会議録についてインターネットに掲載されているが報告のみ。議論した内容が掲載されていないので、どんな意見が出たか公表すべき。⇒審議会の議事録の報告については課題とする。 ・ 公民館の稼働率が今何%ぐらいあって、将来的にどのくらいあげ市民の満足度を高めていくのが大事。今、稼働率がどれくらいあるか。例で示してほしい。⇒中央公民館の例をひとつ挙げると、軽体育室が人気で8割を超えている。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">配布資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 公民館利用状況について 資料 1 ・ 令和4年度公民館事業報告 資料 2 ・ 令和5年度公民館事業計画 資料 3 ・ 令和5年度公民館まつり開催日程表 資料4